

平成27年第1回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

| 発言順 | 議席番号 | 議員氏名 | 質問項目 | 質問日 |
|-----|------|---------------|--|-------|
| 1人目 | 4番 | 富永訓正 (60分) | <p>1. 子ども・子育て支援の推進・充実を</p> <p>(1)「子ども・子育て支援の推進・充実」に向けた取り組みに活用が期待できる、国の「地域住民生活等緊急支援のための交付金（地方創生交付金）」について、市は、どのような活用への考えと構想を描いているか。</p> <p>(2)多様な保育サービスの拡充による待機児童の解消を目指して</p> <p>①市内における保育の待機児童の現状と、見通しを聞く。</p> <p>②東京都では、平成26年度から29年度末までに、多様な保育サービスの拡充により待機児童を解消するとしている。市では、待機児童解消に向け、都の事業の取り組みに対し、どのような活用への考えと構想を描いているか。</p> <p>(3)子どもの放課後対策の加速と充実を</p> <p>①学童クラブでの取り組みについて</p> <p>ア)利用対象学年の拡大についてどのような考えか。</p> <p>イ)学校施設等の活用により、安全の確保と定員増が図られ、利用対象学年の拡大に有効な方法だと考えられる。学校内への設置を検討するに値する時期に来ているのでは。</p> <p>ウ)施設整備・保全を今後どのようにしていくか。</p> <p>②放課後子ども教室での取り組みについて</p> <p>ア)開室日を増やす計画や予定はあるか。</p> <p>イ)指導員、ボランティアスタッフの充実に向けた取り組みは。</p> <p>③学童クラブと放課後子ども教室との一体運営や連携を、どのように考えるか。</p> <p>④学童クラブ、児童館など、それぞれの民間活力の導入について、平成27年度からの長期総合計画実施計画に盛り込まれた。今後、どのような視点で進めていくか。</p> <p>⑤児童の健全な遊びのステーションとなっている児童館の施設整備・保全を今後どのようにしていくか。</p> <p>2. 地域・地区防災について</p> <p>(1)地域のさらなる防災力向上のための「地区防災計画」の推進を</p> <p>①地区防災計画についての市の考えを聞く。</p> <p>②地区防災計画、避難所運営マニュアル、避難訓練等、各地域での取り組み事例はあるか。どのような取り組みか。</p> | 2月26日 |

2 人目

7 番

西 川 美佐保
(60 分)

- ③緑ヶ丘 3 丁目の住宅地は、周囲を工業専用地域、公共施設に囲まれ、瑞穂町に隣接している地域である。この地域の特性に合わせた地区防災の課題をどのように考えるか。
 - ④双葉町は、横田基地、瑞穂町、福生市に隣接している地域である。この地域の特性に合わせた地区防災の課題をどのように考えるか。
 - ⑤災害時要援護者および高齢者の割合が比較的高い U R 羽村団地だが、この地域の特性に合わせた地区防災の課題をどのように考えるか。
 - ⑥各地域の特性に合わせた自発的な取り組みへの展開には、意識啓発等を含めた環境整備が必要と思われる。市として積極的に進めてはどうか。
- (2)子どもたちの防災意識の向上を
- ①学校での取り組みを充実させることは、各家庭での防災意識を高めることにつながる。自主防災の観点から中学生の役割は大きい。学校での防災教育の現状とその取り組みを伺う。
 - ②新たな取り組みなどの計画、予定はあるか。
- (3)東京都が指定した「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」について
- ①市は実地調査したか。
 - ②この区域での課題は何か。

1. 地産地消のエネルギーの推進について

- (1)これまで再三にわたり、公共施設への太陽光発電など再生可能エネルギーの推進を訴えてきたが、今後の市の取り組みを伺う。
- (2)市内街路灯の LED 化は平成 26 年度から始まっているが、今後どのように推進が図られていき、費用対効果はどのようにになると試算されているのか。
- (3)国と東京都では、新規事業として燃料電池バス・自動車や水素ステーションなどの整備に大幅に予算を拡充している。これらについて、積極的に導入するつもりはないか。
- (4)市では、太陽光発電システム、家庭用燃料電池、地中熱利用ヒートポンプなど、創省エネルギー化に助成制度を創設しているが、今後の地産地消エネルギーをどのように推進していくのか。
- (5)今後、羽村市でも東京電力によるスマートメーターへの取り替えが図られ、電力の見える化の実現に伴い、市民の意識向上が図られると期待されているところである。羽村市としてさらに省エネや地産地消のエネルギーが増えるような、未来のスマートなまちづくりの構想を示すべきでないか。

2. 羽村の魅力为全国へ、発信できる観光振興策を

2 月 26 日

- (1) 市内商店会が主体となり、産学官金の取り組みで、羽村駅西口、東口での商店会主催のスタンプラリーや、にぎわい音楽祭、マミー商店会のアンテナショップ等の取り組みで良かった点と課題を、市は捉えているのか。また今年のイベントの考えを伺う。
 - (2) これまで提案させて頂いたローカルラジオ番組FM茶笛、アニメ観光施策、軽便鉄道、産業観光等の施策の進展はどうか。選奨土木遺産となった羽村堰も含め、これらを今後どのように羽村の魅力に繋げていけるのか。
 - (3) 羽村の四季折々の行事や風景の美しさは他に自慢できるものと思うが、羽村市の四季を通した写真コンテストを行い、人気の高い写真を絵葉書にするために、写真の募集を全国に発信してはどうか。
 - (4) 全国から、また海外からも市が注目されるための羽村の魅力を発信するような事業を行ってはどうか。また、SNSやインターネットの活用等で注目度を上げる施策が必要ではないか。
 - (5) 市の注目度を上げると同時に、外国人旅行者を受け入れる環境を整えるため、都の新規予算を活用し、観光施策の充実、多言語案内表示など基盤整備をしてはどうか。
 - (6) 羽村駅を中心として、羽村駅西口開発を含め、観光拠点の整備、若者などの観光情報発信拠点、魅力あるお店の誘致、東口駅前の整備、駐輪場・駐車場等の確保など、市の将来の活性化に向けた総合戦略を考えていく必要があるのではないか。
- 3. 栄町三丁目西部地区まちづくり方針について**
- (1) 栄町三丁目西部地区まちづくり方針を策定したが、用途地域を工業専用地域から準工業地域へ変更する目的と効果、影響は何か。また、場所は具体的にどの地域か。
 - (2) まちづくり方針目標について
 - ① 現状の工業施設等の操業環境に配慮した都市型工業市街地とはどのようなものか。
 - ② 交通利便性を活かし、製造業の営業施設の立地を誘導するとは、どのような企業の誘致を考えているのか。
 - ③ 「高齢者及び障害者が住み慣れた地域で生活するための施設の立地を誘導する」とは、具体的にどのような施設を誘導しようと考えているのか。
 - ④ 本地区のまちづくり方針を具現化するための方策の案として、「工業機能強化ゾーン」と「工業・福祉施設複合ゾーン」などの例があげられているが、産業振興計画のなかでどう位置付けていくのか。
 - (3) 現存する緑地帯は多くの方のウォーキングのコースとなっているが、歩道は狭く足場が良くない。近隣の声も参考に、緑地帯の整備も合わせて計画を進める必要があるのではないか。

1. 羽村市の活性化に向けた、羽村市版地方創生総合戦略の策定について

- (1) 羽村市では、「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」を策定していくのか。
- (2) 地方版総合戦略は、平成 27 年度から 5 か年の計画とのことであるが、計画に掲げる内容については、評価を含め、各方面（産官学金労言）の意見を聴取していくことが記されている。羽村市では、意見聴取の機会をどのように構築していく考えか。
- (3) 人口減少に歯止めをかけるためには、若い世代の就労・結婚・子育ての希望に応える方策を展開していくことが重要と考えるが、羽村市の新規事業として、どのようなものを考えているか。
- (4) 12 月議会でも質問したが、羽村市内の産業構造や形態にも変化が生じている中、羽村市の活性化に向けた産業振興面（工業、商業、農業、観光）での地方創生策として、具体的にどのようなものに取り組んでいく考えか。
- (5) 羽村市版の地方創生を展開していくためには、羽村の魅力創出の考え方を広く内外に示すことが重要と考える。市ではどのような手立て、方策で発信していく考えか。

2. 障害者スポーツへの啓発と推進計画について

- (1) 羽村市スポーツ推進計画の中では、障害者スポーツの推進についてどのように位置づけているか。また羽村市が毎年開催している障害者スポーツ・レクリエーションとの関係は整理できているか。
- (2) 障害のある人がスポーツを行っていくうえで重要なポイントおよび羽村市としての課題は何か。
- (3) 羽村市における障害者スポーツの啓発活動を推進していく上で、先進的活動団体である障害者スポーツ協会との連携については、どのように考えているか。
- (4) 羽村市の子どもたちの障害者スポーツへの関心と理解を深めるため、毎年、駒沢オリンピック公園内の陸上競技場で開催される、東京都障害者スポーツ大会への、見学機会を与えてみてはいかがか。

3. 羽村駅西口地区の整備と今後の事業展開について

- (1) 羽村駅西口駅前周辺の整備について
 - ① 駅前広場の整備をはじめ、今後の駅前周辺の工事予定はどうなっているか。
 - ② 西口事業に並行して進める羽村駅自由通路の拡幅の工事予定はどうなっているか。
- (2) 羽村大橋周辺の整備について
 - ① 東京都が行う羽村大橋の拡幅工事に関連し、土地区画整理事業ではどのように周辺整備を進め、その工事工程計画はできているのか。
 - ② 長らくの懸案事項であった玉川、清流町方面からの羽村東小学校への通学路はどのように安全策が講じられた計画となっているか。また工事工程計画はできているか。

4 人目

12 番

石 居 尚 郎
(60 分)

- (3) しらうめ保育園周辺の整備について
- ① しらうめ保育園周辺の整備はどのように進めていき実施計画はできているか。また事業が完成するまでの間、園児をより安全に送迎ができるよう、工夫できないか。
- (4) 羽村駅西口土地区画整理事業地区内の公共施設について
- ① 羽村駅西口地区内の市有地（事業管理用地）の土地活用をどのようにしていくか。
 - ② 現道や上下水道施設、町内会館、保育施設など、土地区画整理事業の工事や移転が進むまでの維持管理をどのようにしていくか。

1. 高齢者が住み続けたい羽村を（介護・包括ケア・認知症対策）

- (1) 介護保険法が本年 4 月に改正される。医療ニーズを併せ持つ要介護者の増大が予測される中、利用者ニーズに対応した制度となるよう以下質問する。
- ① 改正のポイントは何か。
 - ② 介護保険利用者への影響を羽村市としてどのように捉えているか。
 - ③ 事業者への影響をどう予測しているか。
- (2) 地域包括ケアシステムの構築が急務であり、その充実に向けて質問する。
- ① 在宅医療と介護の連携について
 - ア) 在宅介護支援センターの役割と取組みについて聞く。
 - イ) 在宅医療・介護の連携を進めるため、在宅医療・介護連携支援センターとして発展的に推進する考えはあるか。
 - ② 既存の介護事業所によるサービスに加え、町内会・自治会、ボランティア、NPO、民間企業など地域の多様な支え手によって行う、新しい地域支援事業をどのように展開していくのか。
 - ③ 定期巡回随時対応型訪問介護・看護、複合型サービス、小規模多機能型居宅介護サービス、訪問介護など、在宅医療・介護を可能とする基幹的サービスの充実をどのように進めていくのか。
 - ④ 買物代行や買物支援サービスなど買物弱者対策の充実をどのように図っていくか。
 - ⑤ 地域包括支援センターの機能充実強化を急ぎ進めるべきではないか。
- (3) 認知症対策について問う。
- ① 認知症が疑われる早期段階から診断やサービスの相談が受けられるよう、訪問支援を行う「認知症初期集中支援チーム」「認知症地域支援推進員」を地域支援事業として位置づけて推進する考えはあるか。
 - ② 認知症の様態に応じた適時・適切なサービスが受けられる体制をどのように進めていくのか。

2 月 26 日

③認知症サポーター養成事業の充実、認知症予防事業の実施とさらなる意識啓発を図っていくべきではないか。

2. 神明台2丁目、大規模商業施設の進出について

(1)昨年12月5日にイオンタウン株式会社より事前協議申請書が羽村市に示された。そこには、工事着工予定が平成28年5月、工事完了予定が平成29年4月とある。羽村市における大規模商業施設の進出は、市民を含め内外が注目しているところである。

①建築物の建築面積、延床面積など大きさや広さや階数、屋上利用など、予定建築物の概要はどのようなものか。

②同申請書には、平置きの広い駐車場スペースと立体駐車場が記されている。駐車場の予定台数など駐車場の規模とその内容はどのようなものか。

③商業施設への来店車両および荷さばき車両の走行経路等、交通動線計画はどのようになっているか。

④工事完了までの今後の予定を聞いているか。

(2)交通安全対策について聞く。

①大規模商業施設を囲む市道の中でも市道第3022号は、車が駐停車するとすれ違いができず、すぐに渋滞する状況が続いている。商業施設建設に伴い、良好な交通環境を整えるためにも道路を広げることが必要と考えるが、いかがか。

②近隣住民からは大渋滞を心配する声が上がっている。建設予定地は大型マンションが立ち並ぶ地域であり、また企業が営む準工業地域でもある。渋滞対策など、神明台2丁目を中心とする周辺道路に対し、駐車予定台数を考慮し、その影響をどのように予想し、対策をどう図っていくか。

③周辺地域は、武蔵野小学校、富士見小学校、羽村第三中学校や羽村第二中学校の通学路区域となる。登下校等の安全対策を進めるべきではないか。

(3)大規模商業施設進出に伴い、羽村市は何らかの要請を行ったか。その内容はどのようなものか。また、商工会や町内会・自治会、近隣住民等からの要望を把握しているか。要望を把握していれば、その内容も併せて聞く。

(4)大規模商業施設出店は、商業環境にも大きな影響を与える。羽村市は商店との共存共栄の推進を図るとしているが、具体的施策について聞く。また、産業振興計画にはどのような影響を与えていくのか。

1. 地方創生で景気回復の実感を家計に

- (1) 人口減少に歯止めをかけ、地方の活性化をめざす地方創生。羽村市における地方創生の考え方を伺う。
- (2) 国の平成 26 年度補正予算において、景気回復の流れを地方にまで広げるため、地方活性化や生活者支援への施策が手厚く盛り込まれた地域住民生活等緊急支援交付金が措置された。羽村市は、地域消費喚起・生活支援型と地方創生先行型合わせて 5500 万円の上限額で、市の実情に応じて用途を設定できる自由度の高い交付金になっていると聞くが。
- ① 羽村市としても景気回復への好機ととらえ、積極的な活用を期待するがいかがか。
- ② プレミアム付商品券や多子世帯、低所得者支援または観光振興等に使って欲しいがどのような計画か。
- (3) 若い人たちが住みたくなるような羽村市を目指し、地方創生施策として出会い・結婚・出産・子育てへ、安心して将来設計ができる環境整備の取り組みと充実を望むがいかがか。
- (4) 羽村市の活性化には、地域の活性化とともに近隣市との地域間交流や連携事業も大事になると思う。連携のあり方について聞く。
- (5) まち・ひと・しごとを創生するためには新たな智慧と人材が必要と思う。人材育成と人材確保についての考えを聞く。
- (6) 地方創生は始まったばかり。創生への道筋を示す、今後 5 年間にわたる計画となる「地方版総合戦略」の考え方について伺う。

2. 小作台地域の防犯と安全対策について

- (1) 小作駅東口周辺の現状と対策について
- ① 以前から防犯や安全対策の相談が多い地域であるが、近年の犯罪件数の推移を聞く。
- ② 5 台の防犯カメラを設置して 2 年になるが、状況と抑止効果はどうなのか聞く。
- ③ 飲食店が並ぶ通りでは客引きが横行し、通行にもいやな思いをしていると聞いているが対策を望む。
- ④ 夜間における違法駐車も依然として後を絶たないが、取り締まりなどの対策を望む。
- ⑤ 飲食店街ゆえであるが、深夜のカラオケ騒音やポイ捨て、嘔吐物等の迷惑行為で地域住民は困っている。対策を聞く。
- ⑥ 駅前派出所との情報交換等連携はどうなのか。
- (2) 小作駅西口周辺では、不審者の出没情報をたびたび聞く。小作台小学校もあることから心配である。現状と対策はどうか。
- (3) 今後、防犯上必要と思われる場所、特に通学路への防犯カメラの設置を望む声が多いがいかがか。

| | | | | |
|------|-----|---------------------------------|---|----------|
| 6 人目 | 6 番 | <p>大塚 あかね (60 分)</p> | <p>3. 間坂交差点の整備について (1) 奥多摩街道と間坂街道の交差点の整備は、安全対策としても以前から要望があるが、整備計画の進捗状況について伺う。 (2) それに伴う市道である間坂街道の整備計画はどうか。</p> | 2 月 27 日 |
| 6 人目 | 6 番 | <p>大塚 あかね (60 分)</p> | <p>1. 「和の文化」を子ども達が学ぶ機会の充実を！ (1) 東京都教育委員会の「日本の伝統・文化教育推進校」への取組み状況はどうなっているのか。 (2) 「和の文化」、特に「生活文化」を学ぶ、体験することで、「おもてなしの心」を学ぶことができると考えるが、市の認識について伺う。 (3) 歴史を学ぶ小学校 6 年生、中学校 2 年生、3 年生を対象に、「衣食住」に代表される「和の文化」を学ぶため、教材の一つとして、生涯学習センター「ゆとろぎ」の和室を活用してはいかがか。</p> <p>2. 羽村駅西口へのタクシー、路線バスの乗り入れを進めよう (1) 平成 18 年に西口駅前広場基本設計検討会で示されたタクシー、路線バスの乗り入れ計画の現状について伺う。 (2) 今後、西口駅前広場の整備に向け、タクシー、路線バスが乗り入れる場合、事業者側からの意見を聴取する考えはないか。</p> <p>3. 公園のトイレの整備について (1) トイレが設置されていない児童遊園があるが、設置の予定について伺う。 (2) 男女共用の和式便器が設置されている公園があるが、高齢者施策、子育て支援の面からも、計画を早め、洋式化、バリアフリー化を進めていくべきではないか。</p> | 2 月 27 日 |
| 7 人目 | 8 番 | <p>橋本 弘山 (60 分)</p> | <p>1. 固定資産税（償却資産）の申告の適正化について (1) 平成 26 年度決算ベースで固定資産税の償却資産分は市税全体のどのくらいの割合であったか。 (2) 平成 26 年度の法人、個人の償却資産の申告件数はそれぞれどのくらいあったか。 (3) 該当する法人、個人をどのように把握し、課税していくのか。 (4) 未申告と認定するものについて、どのような指導を行っているのか。 (5) 所轄の税務署との連携は図られているのか。 (6) 担当職員が研鑽を積んで、大規模な資産の場合には企業に出向いての積極的な実地調査も必要と考えるが市の見解は。 (7) 羽村市のこれからの取組みについて伺う。</p> <p>2. 子どもたちの安全・安心のための防犯カメラの設置について</p> | 2 月 27 日 |

8人目

17番

門 間 淑 子
(60分)

- (1)今回設置する防犯カメラは、各小学校通学路に何台ずつ配備する予定か。
- (2)その設置場所の決定は、どのように行われたのか。
- (3)防犯カメラの監視、管理はどのように行われるのか。
- (4)犯罪抑止目的のためには、どのような工夫がなされていくのか。
- (5)福生警察署、駐在所、交番、スクール・ガード・リーダー等との連携は、どのように図られているのか。
- (6)通学路も必要ではあるが、各小中学校の校舎や目の行きとどかない校内への設置を優先する必要があると考えるがいかがか。
- (7)不審者情報が羽村市メール配信で頻繁に寄せられているが、その対応と対策はどうなっているのか。
- (8)今後、子どもたちの安全・安心のための取組みをどう進めていくのか。

3. 2学期制の検証について

- (1)平成22年3月の検証の結果、2学期制によりどのような成果が得られたと考えるか。
 - ①小学校での成果について
 - ②中学校での成果について
- (2)平成22年3月の検証の結果、どのような課題をどのように認識し、解決に向けて取り組んでいるのか。
 - ①小学校での課題について
 - ②中学校での課題について
- (3)3学期制に戻す動きは様々な自治体で行われている。10年目の節目として、この制度を残していくのか、羽村市においても今一度十分な検証と議論が必要と考えるが教育長の見解は。

1. 引き続き新電力購入契約の継続を

- (1)平成23年12月1日から平成27年3月31日までの節約効果額はどれほどか。
- (2)平成27年4月1日から、新電力購入契約を継続すべきと考えるが見通しはどうか。

2. 共通番号制度への準備状況について

- (1)個人番号の付番と通知について
 - ①個人番号を知らせる通知カードは、どのような方法で本人に知らせるのか。
 - ②通知カードの届かない住民へはどのように対応するのか。
 - ③通知カードの交付にあたり、DVなどに伴うトラブルが発生した場合（DV被害者支援の申し出をしていない方）に、どのように対応するのか、その想定マニュアルは作成するのか。
- (2)個人番号カードについて
 - ①カード発行手数料は決定しているのか。

2月27日

9 人目

5 番

鈴木拓也
(60 分)

- ②カードの交付について本人確認はどのように行うのか。
- ③カード交付窓口は本庁舎以外も想定しているか。
- (3) 特定個人情報保護評価について
 - ①特定個人情報保護評価は、平成 26 年度～27 年度の連続作業なのか。
 - ②保護評価はいつ公表するのか。
 - ③保護評価書はどの部署で作成しているのか。
 - ④重点項目評価とパブリックコメントを実施すべきと改めて提案するが、市長の見解を伺う。
 - ⑤安全性に絶対はないと考えるが、リスク管理、リスク対応をどのように想定しているか。
- (4) 関係条例の改正について
 - ①関係例規の制定改廃とあるが、いつ、どのような条例制定・改正を行うのか。
 - ②番号制度に関して、個人情報保護審議会は開かれているか。
- (5) 番号制度導入のメリットについて
 - ①番号制度導入により自治体には具体的にどのようなメリットがあるか。
 - ②番号制度の導入で、住民には具体的にどのような利便性があるか。
 - ③番号制度導入で、人件費は削減されるのか。
- (6) 住民説明は、いつから、どのように行うのか。

1. イオンタウンの工事、出店に向けてどう対応するか

- (1) イオンタウン予定地周辺の交通対策について、どのような対応を進めているか。(信号、狭い道対策、車の流れ、入出店箇所など)
- (2) イオンタウンへの要望活動はなされたか。どのような内容だったか。
- (3) 出店に向けた具体的スケジュールはどのように示されているか。
- (4) 工事における周辺対策はどのようにとられるのか。
- (5) 出店内容は、市内店舗との共存共栄、青少年への影響などを十分に考慮し、羽村市全体として魅力的な商業環境が実現できるものが理想的だと考えるが、市の考えはどうか。
- (6) 深夜におよぶ営業は周辺環境への悪影響が懸念されるが、市の考えはどうか。

2. 4年間を振り返って、改めて問います

- (1) 小中学校で実施されている二学期制は、導入当初の目的は薄れ、デメリットも浮き彫りとなってきた。武蔵村山市は三学期制に戻すことを決断した。羽村市でも見直しが必要ではないか。
- (2) 「入学資金融資制度」は、経済的に苦しい世帯の子ども進学に十分に役立っているとは言えない現状にある。経済的格差が拡大し、貧困の

2 月 27 日

| | | | | |
|-------|------|----------------------------------|---|----------|
| 10 人目 | 2 番 | <p>富 松 崇 (40 分)</p> | <p>連鎖に警鐘が鳴らされる中、高校、大学、専門学校などへの進学に際し、より援助を強める奨学金制度を設けるべきではないか。</p> <p>(3) 羽村市は周辺の市と比べて生活保護の基準が低く、受給者の暮らしは厳しいものがある。上下水道料金の補助金などを復活させるべきではないか。</p> <p>(4) 羽村駅西口土地区画整理事業には、依然として多くの市民が反対の声をあげ続けている。予算の面でも当初計画から大きくふくらむことが明白になった。街づくりをしっかりと進めるためにも、この事業を抜本的に見直すべきではないか。</p> | 2 月 27 日 |
| 11 人目 | 16 番 | <p>船 木 良 教 (60 分)</p> | <p>1. 市内事業者を守り共に発展していく街へ</p> <p>(1) 市内事業者への支援について</p> <p>① セミナーや講演会等の参加事業者数について、どのように考えているか。</p> <p>② 現在行っているさまざまな支援で、すべての事業者に効果が現れているか。</p> <p>③ 小口零細事業者への支援の強化を図る考えは。</p> <p>④ 後継者対策への支援は行っているか。</p> <p>(2) 市発注の工事・物品購入等について</p> <p>① 10 年前・5 年前と今年度の発注数と、発注金額は。</p> <p>② 今年度の市内事業所・市外事業所の受注数と、受注金額は。</p> <p>③ 予定価格はどのように算出しているのか。</p> <p>(3) 市内事業者との災害時応援協定について</p> <p>① 市内事業者とはどのような災害時応援協定を結んでいるのか。</p> <p>② もしもの災害時、協定を結んでいる事業者に活力がなければ災害時対応に影響が出るのではないか。</p> <p>(4) 羽村の発展はこれまでも、そしてこれからも市内事業者の活力が必要不可欠だと考えるが、市はどのように考えているか。</p> | 2 月 27 日 |
| | | | <p>1. 持続可能な農業経営戦略について</p> <p>(1) 農業が職業として成り立っているかどうか。</p> <p>(2) 直売所の農産品の売り先について、現状と課題はどうか。</p> <p>(3) 農家の将来と直売所の経営をどう考えるか。直売所は生き残れるかどうか。</p> <p>(4) 生産緑地について、現状と課題はどうか。</p> <p>(5) 農業に対する規制や農地の転用に関する問題はどうか。またその問題を解決するためにはどうすべきと考えるか。</p> <p>(6) 農業従事者の高齢化と都市化の進展や相続税等に関する問題などによる農地の減少についてどう考えるか。</p> | |

12 人目

1 番

印 南 修 太
(50 分)

- (7) 農業収益を上げ、魅力ある都市農業として成り立たせるため、今後の経営戦略をどう考えるか。
- (8) 羽村市の都市農業は今後の都市経営の大きな柱と考えるが、農地面積は限られている。農業経営という観点から、農地に関して自治体間の連携をどう考えるか。
- (9) 秋田県大潟村などの例を見ると、農業を産業化して経営するという考え方で捉えることができるが、その取組みをどう捉えているか。

2. 今後の行政改革の方向性について

- (1) 「公共施設等総合管理計画」を P R E (Public Real Estate : 公的不動産) 戦略に位置付けてはいかがか。
- (2) 羽村市の公共施設の管理運営には、業務委託や指定管理制度の手法が用いられているが、さらに行政改革を進め、公共施設を戦略的な観点からマネジメントする P P P (Public Private Partnerships : 官民パートナーシップ) や P F I (Private Finance Initiative : 民間資金を活用した社会資本整備) 手法を積極的に活用すべきと考えるがいかがか。
- (3) 具体的例として、小作台図書室の改革はどう進めていくのか。
- (4) 小作台図書室の更新先として、小作緑地公園は小作台小学校に至近で眺望も良く、生涯学習環境としてはこの上ない最適地と考えるがいかがか。
- (5) 小作台図書室の管理運営に民間資金を導入し、障害者を雇用できるようなカフェや絵画等の展示コーナーを併設した施設としてはどうか。
- (6) 加美分室、富士見平分室、川崎分室の更新問題はどうか解決していく考えか。
- (7) 昨年より暫定利用が始まっている「小作台 5 丁目広場」の利用状況はどうか。また、利用者から寄せられている意見はどのようなものがあるか。
- (8) 「小作台 5 丁目広場」の今後のあり方や方向性は導き出されたか。
- (9) 公共資産改革の進捗状況はどうか。

1. 羽村市の魅力創出について

- (1) まちについて
 - ① 羽村市の地域性・特色・個性をどのように捉えているか。
 - ② 羽村駅西口駅前には、行政として何をつくりたいか。
- (2) ひとについて
 - ① 子育て環境のさらなる充実をはかるため、公共施設内にしらうめ保育園を移設できないか。(例 市役所西分室など)
 - ② 開園 40 周年を前に羽村市動物公園で乳牛を飼い、はむらの歴史を学ぶコーナーができないか。
- (3) しごとについて
 - 市内事業所と市民の交流を増やすために、産

3 月 2 日

13 人目

11 番

馳 平 耕 三
(60 分)

業祭などに合わせて、施設公開型のイベントができないか。
(例：大田区「おおたオープンファクトリー」)

3 月 2 日

1. 学習等供用・地域集会施設の利用状況を問う

- (1) 昨年度の学習等供用・地域集会施設の保育室、学習室、集会室の利用率は、それぞれ羽村市全体で何%か。
- (2) 最も利用率の高い学習等供用・地域集会施設はどこか、また、その利用率は何%で、最も低い施設と比較してどれ程差があるか。
- (3) 昨年度、羽村市の学習等供用・地域集会施設の利用者・団体の中で、減額や免除を受けた利用者・団体はそれぞれ何%か。
- (4) 保育室や学習室の利用促進のために行われた新たな取り組みの例はあるか。
- (5) 利用率の高い地域集会施設では、運営委員会や管理人の負担が大きい。今後の改善策を伺う。
- (6) 利用率の低い学習室や集会室の利用促進のため具体策を考えているか。

2. 病院や介護施設の入院・入所の際の身元引受人・身元保証人制度を問う

- (1) 「身元保証人」や「身元引受人」が見つからず、手術や入院ができなかった例があるが、市内の病院、介護施設、公立福生病院の現状を把握しているか。
- (2) こうした相談に訪れる人に対して、羽村市では、どう対応しているか。
- (3) 社会福祉協議会と連携し新たな仕組みを設置したり、市独自の対応を設けようとする自治体も出てきたが、羽村市は何か新たな仕組みづくりを考えているか。

3. 今後の羽村市のあり方を問う

- (1) 教育長は具体的にどのような諸施策で、自立できる子どもを増やそうとしているか。
- (2) 「進路指導」から「進路相談」に名称も変更し、生徒・保護者の意向を尊重しながら、自立する契機とできないか。
- (3) 立川断層の存在を示す根拠が間違いであったと発表されたが、きちんと整理し市民に報告すべきではないか。
- (4) 平成 27 年 3 月 14 日から、青梅線は大幅に削減されることが発表された。市民には影響が大きいがどう対応する考えか。
- (5) 今後、少子化の進展で、子どもの数が極端に少なくなることが予想される。今後、小学校の統廃合などもありうるか。
- (6) 少子化の原因として、非正規雇用や不安定雇用の要因が大きい。今後、羽村市として、どういう目標を掲げて、どのように就労支援・対策を講じる考えか。

| | | | | |
|-------|------|---------------|---|------|
| 14 人目 | 18 番 | 川崎明夫 (50分) | <p>1. 公共施設（土地・建物）有効利用と広域連携について</p> <p>(1) 公共施設等総合管理計画の対象となる公共施設は何か。</p> <p>(2) 一部事務組合も、公共施設等管理計画を策定する必要があるか。</p> <p>(3) 市の都市計画マスタープランは、地形、道路網や土地利用の現状から全体を3つのゾーンに分け、9地区に区分した。その9番目に、公共公益施設である西多摩衛生組合やリサイクルセンター等のある五ノ神・羽・川崎地区がある。この地域の施設や土地の今後の利用についての考えは。</p> <p>(4) 2月5日の読売新聞に「巨大災害がれき 国が撤去」との見出しで、巨大災害時の内、市町村が処理できないなど、一定の条件を満たした場合に国が処理できるようにする関連法改正案を今国会に提出するとの報道がされている。</p> <p>一定の要件の中には、国や都道府県、市町村に平時からの連携を求める規定を設けて、回収したがれきなどを運び込む仮置き場の候補地の事前選定などを進められるようにする。また、法改正と並行して災害廃棄物の広域処理の枠組みも構築するとされている。羽村市においても、「地域防災計画」の中で災害対策の計画を作成し展開しているが、災害対策と広域連携についての考えは。</p> <p>① 災害時の廃棄物発生量はどのくらいの量を想定しているのか。</p> <p>② 災害廃棄物の処理についてどのような手順で処理していくのか。</p> <p>③ 避難所としての公共施設の活用はどのようになっているのか。</p> <p>④ 災害復旧をしていく上での広域連携はどのようになっているのか。</p> <p>(5) この地域の中に江戸街道公園がある。現在は借地として利用しているが、本年4月を期限として、買い取りを求められていると聞いている。この公園の維持管理計画でも別途計画を策定するとされているが、災害廃棄物の仮置き場として活用できないか。また、以前サッカー場として要望したが、複合的な施設として検討したらどうか。</p> | 3月2日 |
| 15 人目 | 15 番 | 水野義裕 (60分) | <p>1. 市民に開かれた市政を</p> <p>(1) パブリックコメントについて</p> <p>① 制度運用の開始以来、各年度に何件の意見公募を実施したか。</p> <p>② 寄せられた意見は何件あり、採り入れた意見は何件あったか。</p> <p>③ この制度をどう評価しているか。</p> <p>④ さらに有効にするための課題は何か。</p> | 3月2日 |

例) 公式サイトや情報コーナーだけでなく、事業の対象となる市民が多く集まる場所での情報提供。

従来の仕組みとの違いや、具体的に目指すものなどをまとめた1, 2枚の資料の提供など。
(2) 審議会などのメンバーの選出に、無作為抽出手法を採用して成果を出している所もあると聞か
が、市の見解(利点・欠点・問題点)は。

2. 子どもたちをめぐる様々な施策について

(1) 通学区域変更について

平成 22 年に2つの中学校の通学区域が変更された。

- ① 変更はどのような結果をもたらしたと認識しているか。
- ② その結果は予測していたか。
- ③ 課題があったとすれば、それは何か。どう対応するか。

(2) 学童クラブと放課後子ども教室について

- ① 放課後子ども教室の活動状況は。
- ② 毎日活動しようとした時の課題は何か。
- ③ 学童クラブの現状(利用児童数や稼働率など)と課題は。
- ④ 放課後子ども教室と学童クラブの一体化にはどんな問題があるか。
- ⑤ 学童クラブを学校に併設することにはどんな問題があるか。

(3) 稲作体験事業について

- ① この事業を継続するとすれば、そのために解決すべき課題は何かを認識しているか。また、その課題にどう取り組むか。
- ② 授業の一環として取り組むなら、その意義を子どもたちにどう伝えるか。また、きちんと出欠をとるといった対応もすべきではないか。

3. 人口動態と財政

(1) これまでの人口動態について

- ① 市内の高齢一人世帯の推移は。(20年前、10年前、現在)
- ② 同じく高齢二人世帯の推移は。
- ③ 同じく生産年齢人口の推移は。
- ④ 市外に通勤し収入を得ている市民の生産人口に占める割合は、また市民税額の割合は。

(2) 今後の人口予測などについて

- ① 生産年齢人口の減少が不可避と思うが、財政に与える影響について、どう予測しているか。
- ② 対策の一つ「職住近接のまちづくり」にどう取り組むか。

1. 区画整理撤回要求第 32 弾

(1) 区画整理問題の解決はオレンジの理論で

- ① 42ヘクタールの整備を総事業費 370 億円、平成 33 年度までに完了、の答弁に変わりないか。

17 人目

13 番

濱 中 俊 男
(55 分)

- ②多くの地権者が反対だ。何人が、どんな理由で反対していると認識しているか。
 - ③合意がなければ事業は進まない。どう対応するか。
 - ④話し合いの場はあるか。なければ作るのが解決のスタートと思うがどうか。
 - ⑤移転実施計画を作成中だが、具体的内容と進捗状況を聞く。
 - ⑥その計画に基づき、事業費、期間を見直すならば、住民意見をどう反映させるのか。
 - ⑦平成 27 年度から 29 年度までの事業予定を聞く。
- (2) 区画整理の前提になった基礎調査について聞く。
- ①平成 7 年のもので「多摩都市モノレール構想のルートに位置づけられ、実現に向けて準備を進めている」、とあるが、今もその認識か。
 - ②人口は平成 13 年、6 万人。17 年、7 万人と想定している。何を根拠にしたのか。
 - ③ 過大な数値を前提に、施行区域 43 ヘクタール。事業期間平成 9 年～18 年、総事業費 346 億円の事業概要が掲げられている。しかし現状では 30 年後の人口が 4 万人台と推計されている。改めて調査をし将来像を描くべきではないか

2. 財政負担を伴う公共施設等総合管理計画を聞く

- (1) 施設老朽化率が他市より高いと聞く。羽村市独自の事情があるのか。
- (2) 選択と集中、利便性の向上が課題と思うが、市の考えはどうか。
- (3) 住民への情報、意見聴取は欠かせないがどう行っているか。
- (4) 計画期間は。また、30 年後の市内人口規模をどの程度に推計しているか。
- (5) 事業費はどの程度と予想しているか。
- (6) 平成 26 年度に中間報告取りまとめのしたこと。内容と公表時期を聞く。
- (7) 中間報告以後の作業工程を聞く。

1. 地方から創生する羽村市の未来について

- (1) 人口ビジョンについて
- ①国の長期ビジョンは、2060 年に 1 億人程度の確保とされている。当市ではどうか。
 - ②当市の 20～39 歳の女性人口の推移をどう捉えているか。
- (2) 今後の計画について
- ①26 年度補正予算での取り組みは。
 - ②地方版総合戦略については。

2. 羽村市史編さんについて

- (1) 市史編さん本部会議の役割と会議の内容は。
- (2) 市史編さん委員会の役割と会議の内容は。
- (3) 市史編さんにおいて得た成果を活かした講座の内容は。

3 月 2 日